

会長	副会長	幹事長	局長	次長	主 幹	係長	主係

## 第7回神崎町・大河内町合併協議会 新町建設計画小委員会会議録

開会日時 平成16年7月14日（水） 午前9時

場 所 大河内町保健福祉センター

神崎町・大河内町合併協議会

## 神崎町・大河内町合併協議会小委員会委員名簿

### 第2小委員会（新町建設計画小委員会）

#### 協議会委員関係分

	氏 名	区 分	分 科 会	備 考	出 欠
1	奥野恒夫	第2号委員	総務文教	神崎町	欠
2	高内直喜	"	産業建設	大河内町	出
3	井上秀男	第3号委員	民生福祉	神崎町	出
4	岩本精介	"	"	大河内町	欠
5	尾上徳美	"	"	神崎町	出
6	上垣博	"	産業建設	大河内町	出
7	高橋勝洋	"	総務文教	神崎町	出
8	立岩三代子	"	産業建設	大河内町	出
9	日和貞憲	"	民生福祉	大河内町	出
10	中山祐美子	"	総務文教	神崎町	出
11	廣納正	"	産業建設	神崎町	出
12	藤原博一	"	総務文教	大河内町	出
13	藤原鉄也	"	"	神崎町	欠
14	藤原安晴	"	民生福祉	大河内町	出
15	堀口勝久	"	産業建設	神崎町	出
16	松山陽子	"	民生福祉	大河内町	出

#### 町長指名委員関係分

	氏 名	分 科 会	備 考	出 欠
1	児島英雄	総務文教	大河内町	出
2	大仲正記	"	"	出
3	大谷郁雄	産業建設	"	出
4	小寺敏樹	"	"	出
5	山下和彦	総務文教	"	出
6	大中康寛	"	"	出
7	井上隆弘	産業建設	神崎町	出
8	西畑強	"	"	欠
9	奥野恵作	"	"	出
10	坂田篤彦	民生福祉	"	出
11	難波義博	"	"	出
12	藤原日順	総務文教	"	出

会 議 録

会議の名称	神崎町・大河内町合併協議会新町建設計画小委員会	
開催日時	平成16年 7月14日(水) 開会 9時00分 閉会 16時20分	
開催場所	大河内町保健福祉センター	
議長氏名	井上秀男	
出席者氏名	別紙「出席者名簿」のとおり	
欠席者氏名	別紙「欠席者名簿」のとおり	
会議事項	<p>1 分科会ワークショップ</p> <p>1班.....福祉相談室(和室)</p> <p>坂田篤彦分科会長 藤原鉄也委員(欠席)、 児島英雄委員、 大谷郁雄委員、 堀口勝久委員、 立岩三代子委員、 井上隆弘委員、 山下和彦委員 〔専門部会〕岡部、難波 〔事務局〕浅田、廣納</p> <p>2班.....福祉研修室(洋室)</p> <p>高内直喜分科会長 松山陽子委員、 高橋勝洋委員、 井上秀男委員、 中山祐美子委員、 大中康寛委員、 大仲正記委員、 藤原日順委員 岩本精介委員(欠席)、 奥野恒夫委員(欠席) 〔専門部会〕井上、芦田、 松原 〔事務局〕細岡、谷忍</p> <p>3班.....福祉講習室(会議室)</p> <p>藤原博一分科会長 日和貞憲委員、 廣納正委員、 難波義博委員、 藤原安晴委員、 奥野恵作委員、 尾上徳美委員、 西畑強委員(欠席)、 上垣博委員、 小寺敏樹委員</p>	2 会議結果

		〔専門部会〕 佐谷、三谷、 河野 〔事務局〕 内藤、吉岡	
	会議の経過	別添のとおり	
会議資料	別添資料あり		

会 議 経 過

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
内藤（事務局長）	<p>皆さん、おはようございます。</p> <p>本日第7回の新町建設小委員会のご案内申し上げましたところ、本当に真夏日の大変お忙しいときにお越しいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>本日は3班に分かれまして、ワークショップ方式によります意見交換会でございますので、初めの席はこういうふうな席でございます。ご了承いただきたいと思います。</p> <p>それでは、初めに井上委員長からごあいさつをいただきます。</p>
井上（委員長）	<p>皆さん、おはようございます。早朝からご苦労さんでございます。</p> <p>このところ大変暑い日が毎日続いております。委員の皆様にはますますご健勝の様子でございます。心からお喜びを申し上げたいと思います。</p> <p>本日は、第7回の新町建設計画小委員会が開催をされました。委員の皆さん方には公私にわたりまして大変ご多用の中、お繰り合わせいただきまして、まことにありがとうございます。</p> <p>本日は、先ほどご案内がございましたように、新町の主要施策につきまして、1日かけてワークショップをお願いすることになっております。大変長時間でお疲れであろうかと思っておりますけれども、よろしくご審議賜りますようお願いを申し上げましてごあいさつとさせていただきます。どうも皆さんご苦労さんでございます。ありがとうございます。</p>
内藤（事務局長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日は奥野恒夫委員さん、岩本精介委員さん、藤原鉄也委員さん、西畑強委員さんからご欠席の連絡がございました。なお、中山祐美子さんにつきましては、午前中欠席で午後からまた出席されます。そして、廣納正委員さん、日和貞憲委員さんにつきましては11時ごろから所用のため欠席というご連絡をお受けしておりますので、ご報告を申し上げます。</p> <p>それでは、委員長、初めの進行をよろしく願いします。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の小委員会は、前回の第6回の小委員会での事務局からお願いをいたしましたワークショップでの意見交換が主でございます。会議録は省略させていただきます。</p> <p>それでは、早速でございますが本日の日程、また進め方につきまして事務局の説明をお願いをいたしたいと思っております。よろしく願いします。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
浅田（事務局）	<p>おはようございます。大変暑い中ご苦労さまです。</p> <p>本日は、第7回の新町建設計画の小委員会、この新町建設計画もほとんど山の頂上に登りかけつつございます。最後の産みの苦しみといえますか、最終段階に入っておりますので、本日各委員さん方におかれましては一日という本当に長い時間なんですけれども、本当に自由闊達な意見を出していただいて、一つのいいものに作り上げたいというふうに思いますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>お手元の方に次第を配付させていただいております。そちらの方に分科会のワークショップということで、1班、2班、3班という形で会場をまず明記させていただいております。メンバーは前回と少し入れかえをさせていただいておりますので、自分の担当分野と違うというふうなご意見もあろうかと思いますが、その辺はいろんな角度から物事を見ていただくということも含めましてご了承を賜りたいというふうに思います。</p> <p>1班は、この会議室を出ていただいた左の和室の方で、坂田分科会長さんを中心に、そちらの方にメンバー表を書かせていただいておりますので、よろしく願いしたいと思います。また、行政の方からも専門部会並びに事務局の方もそれぞれ入らせていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>2班の高内分科会長を中心にしますグループにつきましては、この会議室出いただきました右の福祉研修室の方で分科会を行っていただきたいと思います。</p> <p>3班は、この部屋で机等を少し移動させていただいて行っていただきたいというふうに思うところでございます。</p> <p>それで、本日前回の7月3日の日にまた各委員様方にそれぞれの思いなり意見なり、そういったものを本日まで持参いただいておりますけれども、それ以外にも会議中にいろいろ思われたこと、そういったこともどんどん発表いただいて、本当に皆さん方の意見なり、そういったものが少しでも多く反映される建設計画に作り上げていきたいなというふうに思っておりますので、よろしく願いしたいと思います。</p> <p>それで、各班での進行なんですけれども、基本的には分科会長さんを中心に進めていただきたいと思います。そして、それぞれの班、4つの課題があったかと思いますが、2つをできれば午前中に、そして午後から3時ぐらいを目途に後半の2つ。そして、3時ぐらいから全体会という形でまたこの場所に集まっていきたいというふうに思い</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>ます。その際に、各ワークショップを始めていただく際に、各班それぞれ前回と同様発表をしていただく方をお一人お決めいただいて、全体会の最後のときに各班3班からそれぞれご発表をいただきたいというふうによろしくお願いしたいと思います。</p> <p>それともう一点、本日は大変午前午後にわたりまして長丁場になりますので、神崎町の坂田委員さんの方でそばを打っていただいております。そして、昼食が本日この保健センターの方がいっぱいございまして、ちょっと大変暑いんですけれども、隣の中央公民館の方の2階の和室の方に昼食会場を設けておりますので、そちらの方でそばと、それから神崎フードのお握りをちょっと簡単ですけれども用意をさせていただきますので、よろしくお願いしたいと思います。</p> <p>なお、このそばにつきましては、坂田委員さんを初めこの大河内、また神崎、そういった方々の有志によりそばを打っていただいておりますので、ひとつご賞味方よろしくお願いしたいと思います。なお、委員さんの中で、そばがどうしてもアレルギー体質とかだめな方がいらっしゃいましたら、ちょっと拳手をいただければそばにかわるものをご用意させていただきたいと思いますので、この場で事前にもしわかりでしたら拳手をいただきたいと思うんですけれども、いらっしゃいますか。特にございませんか。なければ皆さん方大変恐縮なんですけど、12時を一つの目途にさせていただいて、公民館の方に移動をお願いしたいということによろしくお願いしたいと思います。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>今事務局の方から本日のワークショップにつきましてご説明をいただきました。</p> <p>何かご質問がございましたらどうぞ。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>井上（委員長）</p> <p>それでは、ほかに質問がないようでございますので、全体での小委員会を終了させていただき、それぞれの会場にて分科会ごとに進めていただきますようお願いをいたします。</p> <p>なお、事務局から説明がございましたように、分科会でまとめたいただきました後、午後3時を目途にこの会場に再び戻っていただきまして、全体会議をお願いすることになっております。この全体会議では、分科会での結果を発表していただき、また意見交換をお願いすることになっております。</p> <p>本日は、大変暑い中午前午後にわたる長時間となりますが、精力的</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>に進めていただきますようお願いを申し上げます。</p> <p>ここで9時20分まで休憩をさせていただきますして、分科会ごとに始めていただきますようお願いをいたします。よろしく願いをいたします。</p> <p>午前9時10分 休憩 午前9時20分 再開 〔分科会ワークショップ〕</p> <p>皆さん、どうもお疲れさまでございました。ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまから全体での小委員会を開催します。</p> <p>これからの進め方につきましては、始めに1班から発表をいただきまして、発表が終わりますと意見交換をいただきます。このようなことで3班まで繰り返していただくことになっております。よろしく願いをいたします。</p>
坂田（分科会長）	<p>それでは、1班の発表の坂田篤彦委員さん、お願いいたします。</p> <p>どうも失礼します。1班の坂田です。</p> <p>私どもは、「愛・やさしさ」ということで、「子どもたちが地域の愛情にまもられて育つまち」ということについての検討をいたしました。</p> <p>結構8人全員の意見、1人欠席でしたけどちゃんとコメントいただいておりますので、まとめてみますとこのような形になっております。</p> <p>どれが優先的ということではなしに、一番数が多かったというんですか、やっぱり子供たちが地域で育つということになりますと、どうしても世代間交流を促進するということが大きくというんですか、数が多い意見が出ております。</p> <p>1つは、やっぱり子供と大人が集まりやすい場づくり、そういうものを、そして自分たちで工夫して活用できる、そういう世代間交流の場を作ろうというような、これ作ったらどうやというような意見でございます。</p> <p>そして、自分たちでその場を発見して日常的にそういう集まり、広場、そういうものを作って、一つの地域を家族のような形で地域家族をというような、そういうような思いで、1つを子供たちを守って一緒に育ててやったらどうやというような大きな意見が出ておりました。</p> <p>それにはやっぱり1つは、それを進めるにはやっぱり交流の仕組み</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>づくりという、やっぱり話しやすいコミュニティーづくりとか地域づくり、そういうものが大切であると。そして、地域の伝統行事とか、そういうものの中で世代間の交流を促進していく必要があるんじゃないかと、こういう意見でございます。当然そういうもんには施設が必要でございますけども、地域の既存の施設の活用ということで、コミュニティー施設をもっと有効利用というんですか、隣保館とか公民館など、先ほどちょっと別の後ろの方でも出とったんですけども、昔は地区の公民館なんか子供ら勝手に入って遊び回ったなあとというようなこともございました。そういうことからすると、やはりそういう場がだんだんセキュリティーの問題とかそういうもんで減ってきて、制約をし過ぎとるとちやうかなというのが私の思いでございます。</p> <p>それから、やっぱり文化施設、図書館とか学習施設、そういうものをもうちょっと拡充して行って、その場で子供たちとの交流を図っていくというような意見がございます。</p> <p>それから、地域に子育てのボランティア、子育てが終わった人なんか、子育てのそういう経験者の方にボランティアへの参加していただいて、子育ての不安とかそういうものに対して皆地域の人が協力して行って子育ての支援をしよう。結構若い奥様の連中は、子育てに対しての不安というんですか、そういうものが経験不足というようなことで持っておられるということがございます。それと、保護者の教育、当然不安を持たれとるんで、保護者の人にもそういうもっと勉強の機会を作っていくということ。これは、小さい幼児の場ですけども、そういうことも必要であろうと。それから、子育てに関する悩みですね、いろいろあるんで、そういう相談の場も必要で、できれば一緒にそういう施設の中で取り組んでいったらどうやというようなことです。</p> <p>それから、若干大きくなってきますと、子供は学校へ行きますと学校教育の中でのやっぱり個性、特徴のある学校運営というんですか、だれもが一律した、平均した教育というのをずっと進められてきたわけですけども、みんな平等で一番同じとならんで、早いこと走る子も遅いこと走る子も一緒に歩いて勉強しようやないかと、こういうことやなしに、やっぱり右走ることが好きな人は右走ると、カニみたいに横へ歩くことが好きな子は横へ歩くと、言うたらそういう個性のある、それぞれの人が人生を歩いていく、そういう個性のある教育方針というのを、将来を見きわめてそういう場づくりをしたらどうやというような話が出ておりました。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>それから、一方地域との連携もあるわけですが、そういうところの中でコミュニティースクールということで、学校をもっと、いつかそういう話出ましたですね、地域と学校を開放してとかというような、そういうものはやっぱりあわせて見直す必要があるんじゃないかというふうな意見が出ております。</p> <p>それから、子供たちといろいろと世代間交流していくわけですが、その場合、やはり昔の遊びとかそういうものを、やっぱりいろいろ年いった人はものづくりにしても何にしてもいっぱい経験豊富でいろいろできる人があるんで、そういう人を子供たちと一緒に知識というんですか、そういうものを与えていくという、知識とか文化を、やっぱり地域の文化というのを与えていく、そういう仕組みづくりが必要であろうというようなことでございます。</p> <p>それともう一つは、子供たちはやっぱりこの神崎、大河内の両町は大変自然の豊かなところですよ。こういう自然の中ではぐくんでいった子供たちがもっともっと豊かな心を持つように、やっぱり自然の大切さというのを子供たちに教える必要があると。これは、いろんな施設、学校の方とか世代間交流の場とか、そういう施設の中でやはりその取り組みの一つの中にこの自然との触れ合いの大切さというのを教えて、子供たちにそういう豊かな自然のありがたさというんですか、そういう経験を積ませてやるということの大切さというのを我々ももう一遍認識する必要があると。こういうふうな意見でございます。</p> <p>それから、セキュリティーの問題、いろいろやっぱり安全、当然出てくるわけですが、この辺のところにつきましては、いろいろそういう活動していく中での問題、通常的生活の中での子供の通学とか、そういうものに対する安全の問題、いろいろあるわけですが、その辺のやっぱり取り組み方、安全安全と言うて、保護する安全と危険であるということの境をきちっと認識させるという安全の教え方というのとあると思うんで、やっぱりこの辺のところ、ここでは簡単にしか書いてませんが、やっぱり安全にするために、柵をずっと設けて囲うてやるというのは必ずしも安全でない。やっぱり大人になれば、先日も神崎町事故あったわけですが、やはりそこへ行ったら危ないんでということをお教えるという安全の取り組み方というものもあると思いますんで、やっぱりそういうところへの指導というんですか、親も含めてですけども勉強していく必要があるんじゃないかというふうなまとめをしております。</p> <p>これが第1班の、「子どもたちが地域の愛情にまもられて育つま</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>ち」ということで取り組んだ内容でございます。</p> <p>次に、「地域風土と調和して暮らせるまち」ということで、この資料の方にもいろいろ施策の柱とかキーワードとかというのは出ておりましたんですが、どうしてもこの地域はどちらも新町できたときには同じような条件であるということで、一番大切なというんですか、昔の基幹産業であったという田んぼと山というものが今どうあるんかというところへ結構、紙の枚数は少ないですけども論議に熱が入りました。その中で、やっぱり1つは田んぼ、休耕田を活用した農業のあり方、そして子供たちに農業体験をどうしてやったらええんかということ、学校教育だけじゃなしに地域の方での教育とか、そういうものを含めて休耕田を利用したり、何かいい方法があるんじゃないかというような話が出ておりました。</p> <p>それから、里山の活用についてもいろいろと意見が出たわけですけども、なかなか田んぼと山というのはいろいろな条件が異なっておりまして、活用する内容としては木質のバイオとかペレットにするとか、いろいろな活用方法はあるんですけども、個人の所有する山であって、農地のような簡単な取り扱いということはなかなかできないというような問題もあるんじゃないかと。だから、どうして里山を共有化していくかとか、そういうことを整理しなくては、やはり農地やったら田んぼを今年は休耕田の方になっとるさかい、営農組合なり近所の人にだれか使うてもろうて、子供たちに使うてもろうてもええ、学校で使うてもろうてもええでと、こういうふうに簡単にいって、来年になったらまたあれやということで考えられるわけですが、山はそうはいかんで、どういうふうなかかわり合いをしたらええんかというか、意見はいっぱい出たんですけども、なかなかこれというふうなものは出ませんでした。ただ、その中で、この地域では山が9割近いんで、山が占めとるわけですから、やっぱり環境税として水源税とか環境税とかということで、酸素をいっぱい供給しとんやから、うちの町だけやなしに全国山持っとるところは結構多いわけですけども、やはりその辺の都会の人と田舎の者との差というんですか、そういうものもやっぱり我々の中ではやっぱりできないことではあるが、やはり県とか国にそういうことへの理解を求めるような運動も必要やないかと。ちょっと余談なことが先になりましたけども、そういう話も出ておりました。</p> <p>基本的に、「地域風土と調和して暮らせるまち」ということにつきましても、やっぱり若者たちが住みたい町にせなんだらいかんという</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>ことで、そういう先ほどのちょっと活用の問題と絡めて、自然に親しめる住宅設備とか、休耕田を住宅化するとか、若者の希望する住宅を提供する、そういう、それから新しい産業にするために、生活するための就業の場にそういうものを活用していくというような意見が出ております。</p> <p>それから、話がちょっと流れができないんですけども、順番に話していきますと、空き家もぼつぼつと出てきるとというようなことで、その辺の管理というんですか、運営というんですか、そういうものを考えた上で、賃貸住宅化、集団住宅化というようなことの取り組みも必要であろうということです。</p> <p>それから、ちょっと飛躍した形ですけども、ここの地域から通勤圏の広がりをもっとPRしてはどうかと。都市部から離れてるというイメージを崩して、通勤にある程度便利でありますよという、ベッドタウンとしてのイメージをみんなに訴えていくというようなことも必要でないかというような意見出ております。この件につきましては、私ごとでございますけども、私は阪神間の方へ十何年間単身赴任しております、最後は2年間大阪の方まで通勤いたしました。それほど苦になるほどのあれではございませんで、約2時間で弁天町まで会社から、家を出てから通うておりましたので、東京なんかで埼玉の方から通うてはる方というのはそんなもんざらですんで、別にどうってことないと。だから、神戸やその辺まで通うんやったら、もっともってここを都会の人に利用していただいて、活性化を図るような方法も可能じゃないかというような意見も出ておりました。</p> <p>それから、地域のよさとか地域の個性を一遍見直してみたらということで、外からここの地域をもう一遍見る方法というのを考えてはどうかと。他地域にないものをもう一遍見つけ出して、定住を促進して、誇れる町にしていくと。これは、やっぱり時間かけてやっぱりもう一遍仕切り直して見ていく必要があるかと思うんですけど、田舎のよさというのを生かした生活環境、それから地域風土を守っていく中で、そういう見方を、ちょっと視点を変えて見ていくということでございます。そういうものとあわせて、播但線の通勤のあれとあわせて、やはり複線化ということもできることなら将来に向かって一つの目標を定めておいた方がいいんじゃないかなということでございます。</p> <p>それから、新しい新規就農の農業の希望者に対して農地なんかを渡しやすい、譲ってあげやすいように、そういう支援、いろいろ農地法</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>とかいろいろそういう制約がある中で、永住する方、そういう希望がある方に対してのやっぱり支援策というんですか、もっと簡単な手続きができるような方法をやっぱり模索していく必要があるんじゃないかと。都市の方と交流を深めて、そういう情報交換の中でやっていく必要があるんじゃないかなと。それから、都市の人と体験の農園とか、都市の人が農場や里山での体験づくりができる場づくり、仕組みと一緒にあわせて空き家なんかを利用して宿泊施設を造るとか、減反しとるところをもっと集約型にしてそういうものを活用する方法とか、もう一遍その辺の休んでるところ、減反とかそういうことで山にしても余り人が入ってないような山をどういうふうにするかというようなことを、都会の人を含めてそういう仕組みづくりを一遍見直してはどうかというような意見が一つの我々のまとめた内容でございます。</p> <p>時間が余りだんだんないような気がしてきてちょっと焦っとんですけども、それから「高齢者や障害者の方が生きがいをもって暮らせるまち」ということで、これは障害者の方に対してはやっぱり授産施設とかケア体制の充実、そういうものがやはり必要であろうと。それから、そういう方に対する、高齢者も含めてですけども、やはり拠点づくり、先ほども言うてましたそういう拠点づくりの中には世代間交流ができる場というんですか、そういう交流の場というものも必要じゃないかなということです。</p> <p>それから、高齢者には生きがいづくりということで、やっぱり年をいっても自分の知恵とか技を発揮したいというような場を作ってあげるということも必要であろうと。やはり、舞台に立てばやはり背筋を伸ばしてというようなこともあるかと思うんで、そういう年寄りの方の、高齢者の方のやっぱり技を活用する、発揮できる場所を作ってあげたいということで、介護老人になる前にやっぱり生きがいのあるものを見つけて活用していける場を作ってあげることだということが大切であろうと。当然そういうもんに対しては仲間づくりとか、高齢者に対するそういうメンタルのケア、そういうグループ化というののソフト的な仕組みづくりも必要であろうと思います。</p> <p>それから、生活支援については、後からも出てくるかもしれませんが、何でも屋さんということで、年いった人でちょっと直したらええんとちゃうかなと、電気製品でも、今はもう難しゅうなってますけども、そういうことで何かちょっと助けてくれる人がおあったらなというような人あるんで、そういう何でも屋さんというような、何でも助けてくれるような人がやっぱり、実際は人材がいてはるはずやと思</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>われるんですね。さっきもちょっと技量がある人が、経験の豊富な人があるんで、昔電気屋さんしとったでと、大工さんしてはったでというような人にはちょっとお助けしてもらったらというような人あるんで、そういう生活支援の体制づくりというんですか、仕組みづくりが必要であろうと。</p> <p>それから、神崎町の福本にできとるリサイクルプラザなんかできとんですけど、どのようにリサイクルプラザの運営されとるんかちょっとわからんですけども、そこでのやっぱりできるもんがあればもうちょっと活用を広げていただけたらというような意見も出ておりました。</p> <p>それからもう一つは、いずれにしてもそういうことはやっぱりそういう人材の活用でございますんで、今のシルバー人材センターとのつながりをもっときちっとしていただいて、我々にわかりやすいように、住民にわかりやすいように、その専門的な人材をもう一遍掘り起こしを、シルバー人材センターとは別に掘り起こしができるもんがあれば、そういう人を確保して、そういう困った人に生活支援をできるような体制づくりができたらなということです。</p> <p>それから、寝たきり予防のためのミニデイサービスの充実とか、サービスを受けるべき人がちゃんと受けられるように福祉のサービスの質の向上、当然施設とか各機関の連携というものも必要やろうし、インターネットとかCATVを利用したそういうシステムというんですか、つながりの連携の質の向上を構築していく必要があるということが出てます。</p> <p>それから、そういうものを総括した中で、やはりそれまでにできることは自分たちでやるんやと。できへんことは行政にもお願いし、周りの人にも持っていくんやと。まず、そういう心意気みたいなものもそれぞれ、年いったけんもうみんなに何でもお任せやと言うてえて役場へ頼まあとか、近所の人に、部落の人に頼むわとかというんじゃないしに、自分たちでできることは自分たちでやっていって、そんでやっぱりできないことは助けてくださいよということで取り組む、やっぱり意気込みというもんをやっぱり年をいっても持っていただけるような、そういう激励もできるようなことが必要であろうということでございます。</p> <p>それから最後に、「誰もが不自由なく安心して日常生活を過ごせるまち」ということで、自分たちのことは自分たちでと、先ほども一緒ですけども、とにかく自分たちでやって、自分たちのしたことが人に</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>感謝してもらえそうな、何かそういう姿というんですか、姿勢で取り組んでいく必要があると。</p> <p>そういうことと、それから防犯活動について自主パトロールとか、そういうものも昔の夜回りじゃないですけども、そういうものも、やはり安心な生活を送っていただくためにはやっぱりそういう地域で、自分たちで防犯活動を展開していくと。そういうもののつながりを幅というんですか、連携をするためにはC A T Vなんかの整備、活用の中でやっていって、双方向の情報の受信、発信ができて、手続等もできるような方法がC A T Vを見直すときにできたらなど。費用の問題とかいろいろあるんかもしれませんが、ちょっとそういう意見も出ております。</p> <p>それから、地域の拠点づくり、先ほども出ておりましたけども、地域の拠点づくり、これは福祉とか、そういう消防とか、そういうものの拠点づくりとあわせて、先ほど出とったもんも一緒に考えてもええと思うんです。だから、総合的な福祉というんですか、よろず相談でもいいし、何でも承ります会とか、そういうような校区単位にするか、民生委員の方が今まで取り組まれとる中をもう一遍ひとつ見直して、整備できるのであればもう一遍そういう地域の拠点を見直したらどうかと。それには、やっぱり集会所の門戸を開くとか、子供の遊び場、先ほど出ておりましたが、そういう内容を含めたそういう拠点づくりでございます。</p> <p>それから、生活道路の充実、整備につきまして、もうちょっと実際に工事をして整備するときには住民の意見なんかを聞いて整備してほしいというような、ちょっと言葉足らずになっておりますけども、そういう意見がございました。</p> <p>それから、播但道が高いんで、これは何とかももっとも地域から利用する、姫路方面に行く人のあれを何とか考えてもらえんかなというような、そういう取り組みもしていただかなんたら、やっぱりこのこっから通勤とかいろいろしていくんに播但道の料金がちょっと高過ぎるんやないかというようなことでございます。</p> <p>それから、定年後の生きがいづくりということで、高齢者の行政への参画とか、これは先ほど来言った婦人会を退職した人、消防も含めてですけども、やっぱりそういう人の活躍の場、高齢者になる前の、僕らも消防やめた途端に何か一遍に年いったような、することがなくなつたような気もするんですけども、そういう婦人会の方もそうであると思いますし、そういう活躍の場というのを何かもっと見直すと</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>いんですか、そういう場を作っていけるような仕組みができればなということでございます。ということは、中間世代の地域参加ですね、そういうところにポイントを置いた何か仕組みができたらなということでございます。</p> <p>土地の有効利用につきましては先ほど来言うて、休耕田につきましてもやはりきちっと充実させてもらう必要があると、整備計画は、土地の整備というのは大切なことであろうということでございます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま1班に与えられました「愛・やさしさ」について、4つの視点で坂田委員さんからきめ細かに発表をいただきました。</p> <p>このことにつきまして、委員皆さんから積極的なご意見をいただきたいと思います。</p> <p>どうぞ。</p> <p>ございませんか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>それでは、ほかにご意見がないようでございますので、次に2班の課題に入りたいと思います。</p>
坂田（分科会長）	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>〔拍 手〕</p>
井上（委員長）	<p>ご苦労さんでした。ありがとうございました。</p>
藤原（日）委員	<p>2班の発表の委員さん、藤原日順委員さん、お願いをいたします。失礼いたします。2班の藤原でございます。</p> <p>ちょっと会場の方に入るのが遅れました関係で、根回しがあったのか何かで私の方にお鉢が回ってまいりました。</p> <p>2班の方は、「命・いきいき」、「自然の恵みと共に生き、力強い命の躍動・活力をはぐくむまち」ということでテーマが4つ。</p> <p>まず最初に、「美しい自然・地球環境と共生するまち」ということでございます。</p> <p>風光明媚な景観を表現する言葉として、山紫水明ってということがございます。山紫にして水明らかなりということなんですけども、そちらの方で美しい自然ということを考える場合、やはり山と、それから水という両面から考えていかざるを得ないだろうということ、まず山の方でございますけども、前々回の山下委員さんの方からも話が出ましたとおり、ほったらかされたら自然っていうのは自然じゃないと。あくまで整備された自然が自然であるということでございますん</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>で、里山の整備ってことをやっぱり考えていかないかならうと。特に、峰山高原ですか、砥峰ですか、ススキの方の根が踏まれてなかなか育たないということがあるらしくて、それを保全する対策が必要であろうと。とにかく適度に手を入れるということが大事であると。</p> <p>あと山林の木材を考えると、今の状況を考えるとやっぱり付加価値をいかに高めていくかということが重要だということで、大木主義っていう言葉が出たんですけども、とにかく小さな木じゃない、とにかくどこにもないような大きな木を育てることが大事で、その差別化によってその木を売っていくということが大事だろうということで意見が出ておりました。そのためには、やっぱり間伐が必要になってきます。その間伐材の利用ということで、こういった形の土木工事に利用するとか、それから木材を利用して遊具、炭を作っていくと、炭を利用していくというような形の方法がいいんじゃないかという話が出ております。</p> <p>山についても、やっぱり地域みずから山の手入れを行っていく必要もあるだろうし、希少価値を追求していくということがやっぱり重要であろうというのが山に関する意見です。</p> <p>今度一方川でございますけども、川と触れ合うということを考えた場合に、やっぱり教育が大事だろうということで話が出ておりました。先ほど坂田分科会長の方から安全教育ということで、危ないところに近づいてはだめっていう安全教育という話が出たんですけども、2班の方では逆に川へ近づく楽しさと、それからその危険っていうのをやっぱり両面から教えていかないかのじゃないかなと。川の楽しさと怖さっていうのを教える必要があるだろうということで意見が出ております。</p> <p>あと中州の整備であるとかいろんな話が出ましたが、あと湧水を活用するというような形も出ましたけども、清流を守っていくということについてこれからこういう形で考えていかないかという意見が出ております。</p> <p>環境教育の推進ということで、その保全をするためにこういった形の交流体験を通して自然を守る保全の仕組みを確立する、こういったことが必要であろうと。もう一遍繰り返しになりますけども、環境教育については子供のときからやる必要もあるだろうし、自然とのかかわり方を教える教育インストラクターの養成で川の楽しさ、怖さをやっぱり教えていく必要があるということで意見が出ております。</p> <p>あとは、ちょっと新エネルギーのことなんですけども、太陽発電で</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>あるとか風力発電、水力発電とか、そういったのを利用もやっぱり考えていかざるを得ないだろうということで意見が出ております。</p> <p>「美しい自然・地球環境と共生するまち」ということでは大体以上のような話が出ておりました。よろしいでしょうか。</p> <p>続きまして、「生産者の顔が見える農林業の盛んなまち」ということでございます。</p> <p>やっぱりほかの商品との差別化ということを考えた場合に、やっぱり特産品、新商品の開発、本当の特産品って何だろうかということで、よく例が出たのがやっぱり炭とゆずということでございます。売れる商品を開発するために、炭をもう少し脱臭というような特色を出して商品化できればほかのところに負けない商品ができるんじゃないかと。あとゆずについても、香りについてほかの形の商品化ができないものか。あとゆずだけ単独でもっと高く売れる方法ないのかなという話も出ましたし、あとゆずを利用して漬物商品であるとか、そういった形の転用ができないものかなという話は出てます。</p> <p>そういった特産品についてのやっぱりブランド化っていうのが大事でして、ブランド化、例えば「高原」という言葉っていうのは非常に響きがいいもんですから、「高原」という言葉を使っただけのブランド化、イメージ戦略をとっていったらいいんじゃないかなと。だから、商品のイメージを形成するのはやっぱりネーミングになりますんで、そういった形のネーミングを考えて、あと商品との開発とリンクさせて売っていくということが大事ではないかというように話は出ております。</p> <p>これもやっぱり単独ではなかなかできないことですから、そういった法人化とか、経済との仕組み等を考えて取り組む必要があるだろうと。農林業の法人化も必要であろうし、あと組織として放棄田をどのように解消をしていくか、その辺のことも考えていかざるを得ないと。それとあと、当然経済の仕組みを考えますと在庫貯蔵施設、その辺のことも要するに付加価値を高める、時期をずらして出荷することもありますんで、貯蔵設備、その辺のところもやっぱり考えていかざるを得ないだろうということです。</p> <p>ブランド化を考えた場合に、名前だけ、名前ももちろんなんですけども、あとやっぱり一番売りになるのは安全、安心という、これがキーワードになるだろうと。地域のよさであるとか、そういった情報発信をすることによって、新町で作った農産物は安全であり、おいしく食べれますよということをいかにPRしていくかという情報発信が必</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>要だろうと。</p> <p>あとこれと関係してくるんですけど、やっぱり販売ルート、特産品、新商品を作るっていうことももちろん大事ですけども、それと同時にやっぱり販売ルートをいかに確立していくかということが一番大きなポイントになってくるだろうと。例えば、地域産品の販売コーナーを作ってそこで販売していく、同じように物産販売所を整備して、そこで例えば道の駅、道の駅という表現はどうかかわりませんが、物産を販売していくところを整備してやっていくと。同時に朝市、青空市を開催するとか、地域内との、小売店との連携を図ってスーパー等で販売していくということが必要ではないかと。この情報発信については同じようにこういった分と、それからあとCATVとの連携でやっていく必要があるだろうということです。</p> <p>もう一点、その土地で作ったものをそこで消費する地産地消の仕組みってのもやっぱり作っていく必要があるということで、地域産の、ここでできた木材をその場所ですべて使っていく、そういったのを奨励していく補助金制度ってのもやっぱり必要ではないかなと。例えば木製品の机を作ったり、それからその机と一緒に卒業というような形で、こういった形の地産地消の仕組みってのも絶対必要であろうということです。</p> <p>あと例として、今観光体験っていうことで、イチゴ農園とかいろいろそういったのもありますけども、そういった形もどんどんやっていく必要があるだろうということです。</p> <p>大体これ農業の方なんですけども、あと林業の方については山に手を入れるために、先ほどの話にちょっと戻りますけども、林道の整備が必要であろうと。特に大河内町の場合は、頂上付近の部分は林道が整備されてるけども、すそ野の部分の林道がなかなか整備されてないんで、そうすることによってこれからこちらの森林の保全にも役立つし、こういった農林業の交流の方にもいけるんじゃないかなということです。同じように森林浴、それから森林浴の方にも結びつけてやればいいんじゃないかなという話が出ておりました。</p> <p>「生産者の顔が見える農林業の盛んなまち」ということにつきましては、大体以上であろうかというように思います。</p> <p>続いて、3番目が「地域に根ざした事業者活動の活発なまち」ということでございます。</p> <p>この問題は、ちょっとなかなか難しゅうございまして、あと一番最初に発表された第1班の分ともやっぱりかかわってくるわけなんです</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>けども、地域に根差した事業者活動ということで、まず商業の方なんですけども、特に話が出ましたのはやっぱりJRの寺前駅のことが出ておりました。JRの利用客、あと乗り継ぎの関係がございまして、その分とそれをいかに結びつけていくかということです。寺前駅の商店街の店舗の整備がやっぱり必要であろうということで、とにかく統一した雰囲気、ですから店先の方を統一した景観にして、店先をですね、レトロな雰囲気にするのかどうい雰囲気にするのかわかりませんけども、そういった形で統一した景観を作ることによって、観光客を一たん寺前の駅におろすということが1つ考えられるんじゃないかということです。</p> <p>同じように、特色あるお店を奨励していくってことも必要でしょうし、あとやっぱりどうしても若い人は車がありますからどのようにもできるんですけども、お年寄り向きに宅配、買い物した人に対して宅配のサービスとか、買い物の送迎するというような形も考えていく必要があるであろうということです。</p> <p>やっぱりすべてに共通するんですけども、例えば情報発信をいかにするかということが一番大事ではないかということで、そのための方法としてここに上げられてますように、立ち寄る魅力のある商店街、先ほどのもんともかかわってくるんですけども、あと現在大河内町の方でやとられる電源の町ということで、イルミネーションを売りにして情報発信していくと。あとこういった魅力のポイントがありますよっていう形のガイドマップもやっぱりそろえて、寺前駅等々で広報活動を行う必要があるんじゃないかなという話が出ておりました。これもJRですからほとんど同じでございますね。</p> <p>あと工業の方ですけども、これはやっぱりこちらの方でどうこうということではなくて、やっぱりこれは役場なり、そういったそちらの方をお願いせざるを得ないんじゃないかと。工業団地の早期の完売と雇用の場を確保してほしいと、これあくまで要望でございますけども、そういった形で工業団地の方の完売をお願いしたいということでございます。</p> <p>先ほどの情報発信ともかかわっていくんですけども、やっぱり大きな工業、商業の消費地としては、やはり姫路、加古川っていうのがターゲットになってくるだろうと。お客さんを呼ぶための産業市、大きな見本市なり産業市っていうのも開催する必要があるのではないかとということです。</p> <p>工業、商業を考えてみます場合に、やっぱり一番基礎になってくる</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>のが、いかに住人の人数を増やすかという、先ほどの定住の促進ということにもかかわってくるんですけども、やっぱりそれが一番ポイントになるのかなということで一致しております。</p> <p>そのためにゾーン、拠点の整備ということで、これはどうかわかりませんが大学誘致とか、そういった例も出てましたけども、市場開設等々でこういった商業ゾーン、工業ゾーンというのきちっと考えていく必要があるんじゃないかという意見が出ております。</p> <p>その他として、道路とかトンネル、神崎町と大河内町を結ぶトンネルであるとか道路の方の整備をしてほしいという意見がたくさん出ておりました。</p> <p>3番目については大体以上かなというように思います。</p> <p>最後になりますが、「心身の健康、生きがいをはぐくむまち」ということで、これは大きく分けますとやっぱりこの健康増進活動の推進ということと、歴史文化活動の推進、この2点の大きな問題になってこようかというように思います。</p> <p>現在の地域活動を見直した場合に、イベント大会がちょっとマンネリ化してるとか、そういった現状認識がありますんで、それをどうするか。それからあと、今回合併を契機にして当然規模が大きくなりますんで、それをどうしていくかということで、体育協会の統合から今までのやってる分野だけでなくってこれからの違う分野の方への拡大で交流の活発化っていうのを図っていく必要があると。一つの例として、将棋の名人戦とかそういった例も出てました。</p> <p>あと新町の和を築くために、スポーツの地区対抗の交流大会を企画すればいいんじゃないかという意見が出てます。あとこういった対抗戦だけでなく、みんなが楽しめるスポーツ大会もやっぱり企画する必要があるだろうということです。</p> <p>あと公共施設の利用の巡回バスをやっぱり考えていかざるを得ないと。体育施設の利用に送迎バス便とか、その辺のところも必要であろうし、そういったことによって地域の方の利便性を高めて、こういったスポーツ大会に参加してもらおうようにするというのが大事であろうということです。</p> <p>健康増進活動の推進ということで、とにかく出ましたのがやっぱりウォーキング、歩くっていうのが一番よく今はやっておりますんで、地域内のウォーキングコースを設定してはどうかということで、歴史を探る、それから自然の分を探る、それからあと健康のために歩くと。体力別にコースも設定するなどしているようなウォーキングコース</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>を設定することによって健康づくり、健康増進に資するような大会を開催してはどうかということで、あと長谷の温水プールをどんどん利用、活用してほしいという意見が出ました。</p> <p>それと、これと絡んでくるんですけども、ウォーキングと絡んでくるんですけども、例えば歴史文化活動の推進ということで、地域内にある歴史的な史跡の探訪をすとか、そういったハイキングコース、ウォーキングコースを設定するというのがひとつおもしろいんじゃないかということです。</p> <p>この歴史文化活動の推進ということで、ただそこを回るっていうんじゃないくて、どういう伝承があってそういうものがあるのかということの、郷土の歴史の伝承ということで、歴史を語り継ぐ会であるとかインストラクターを養成していくことによってこういったハイキングコース、それからあと観光の、例えばお客さんが来られたときにそのインストラクターないしはその語り継ぐ会の方がガイドの役割をするっていうような形でのリンクができるんじゃないかなということです。</p> <p>あとサークル活動の方もなかなか知られてないところあるので、情報発信する必要があるだろうと。この情報発信についてはすべてにやっぱりかわってくるというように思います。</p> <p>あと神崎町にしても大河内町にしても、やっぱり冬の間の部分がどうしても落ちてきますんで、その分冬の間の例えば高原での雪遊びであるとかミニスキー場っていうようなことも考えて、冬でもお客さんが呼べるということを考えていく必要があるんじゃないかなというのが意見が出ました。</p> <p>大体以上かなというように思うんですけども。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま藤原委員さんから、「命・いきいき」の目標に対するまちづくりの視点が発表されました。</p> <p>このことにつきまして、委員皆さんのご意見がありましたらお願いをいたしたいと思います。</p>
井上（委員長）	<p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>ご意見がないようでございますので、藤原さん、どうもありがとうございました。</p>
井上（委員長）	<p>〔拍 手〕</p> <p>最後に3班の課題に移らせていただきます。</p> <p>3班の発表者の難波義博委員さん、お願いをいたします。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
難波委員	<p>失礼します。神崎町の難波です。</p> <p>ちょっと発表しにくいということで、コンサルの方にわかりやすいように書いていただいたんですけども、自分の中では余計にわからなくなっちゃってちょっと困っているんですけども、自分なりの言葉で表現させてもらいたいと思います。</p> <p>3班は、「心・ふれあい」、「住民どうしの顔が見え、人と人との心のふれあいが生まれるまち」ということで、4つの項目について話し合いをいたしました。</p> <p>それで、まず1つ目の「安全・安心を支えるまちづくり」ということで考えてみたわけなんですけども、委員さんの中から一番多く出された項目がこちらにあります防犯ということでございます。今の社会情勢の中で、大河内町でありますとか神崎町ともに空き巣があったりとか泥棒が入ったりということで、今まではそんなに防犯意識も高くなかったんでしょうけども、ここ最近防犯に対する意識の必要性が感じられております。</p> <p>それで、防犯でどういったことをすればということで、まずは地域内で声かけ運動を進めていこうと。これはそんなに難しくないかと思えますけども、お互いが地域で見守りながら声かけ運動をやっていこうと。そうすることによって、まずは一つの防犯活動につながるんじゃないかなということが上げられております。</p> <p>それから、パトロールを強化的にやっていこうと。このパトロールも防犯パトロールと違ってありますけども、もっともっと頻繁に行っていけば防犯につながるんじゃないかなと。そうした場合に、ボランティアさんによるパトロールをもう少しやっていこうというようなことが上げられております。</p> <p>それから、そのほかには防災というところのテーマも挙げられております。</p> <p>有事に対してはなかなかそういう機会がないということで、各集落には自治防組織とかそういったことも組織立てされているんですけども、なかなか発表する、自分らの活動を試すという機会がないかと思えますので、そういった場合にはこの自主防災フェアみたいなものを開催いたしまして、一度お互いの集落ごとに集まってそういった発表の場をしてはどうかというようなことも上がっております。</p> <p>それから、交通安全ということで、交通事故ゼロにということに持っていこうと、また警察の方にもお願いしてきめ細かなパトロールを実施していこうというようなことが上げられております。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>それで、こちらの方が行政が主体となってしていただきたいサービスですけども、行政が主導、あるいはサポートしていくっていうよりも、我々が大事だと考えたのが、この真ん中の段でくくっております、住民みずからがボランティア的にかかわろうとする意識が強い、こういった活動を今後もっと進めていこうじゃないかと。こういった住民主体の取り組みがようやく今芽生え始めたんじゃないかなというふうに考えております。しかし、行政側でお願いする部分、サポートしていただく部分と住民主体で取り組む部分、これが連携することによって、この項目についてそれぞれ波及効果が出てくるんじゃないかなというふうに考えております。</p> <p>1つ目は以上でございます。</p> <p>2つ目、「住民主体の地域づくり」ということで、またコンサルの方に矢印までわざわざつけていただいて、わかりやすくしていただいたんですけども、余計に私もわからなくなってしまっております。</p> <p>それです、よく言われるのが自助、共助と、公助とか、そういう言い方をされるかと思えますけど、まず行政からサポートしていただく、いわゆる公助の部分について見てまいりたいと思えます。</p> <p>行政からのサポートとして、地域づくりにおいては地域審査会等の設置を検討してみてもどうかとか、あるいはそれぞれの町で取り組んでいるまちづくりに対して町からの支援制度を作っていたらどうかというようなことが上げられております。そして、これ以上に考えてみましたが、自助努力として、自治会であるとか集落活動でこういった活動に取り組むかということでございますけども、地域によってそれぞれ一度みずからで計画づくりを行ってみてもどうかと。それから、可能かどうかわかりませんが、集落単位で条例みたいなものを作ってみて、そういったものを作って個性を出していけばどうかというようなことが上げられております。こういったことをすることによって住民の関心が高まり、地域のそれぞれの個性化がより一層進むんじゃないかなと考えております。</p> <p>それで、従来は行政主導のまちづくりという進め方であったんですけども、これではなかなか住民の主体性が十分に発揮できないということが言えるかと思えます。しかし、今各地ではミニデイサービスとか、それから大河内町の場合でしたらふれあい喫茶とか、こういった地域ぐるみの取り組みがなされるかと思えますけども、こういった住民主導の動きが出ている中で、今後より住民主導の方向にシフトすることで個々の関心も高まり、特色あるまちづくりができるんじゃない</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>かなと、このように考えております。</p> <p>3つ目と4つ目ですけども、「来訪者・観光客とのふれあいを大切にするまち」と、それから「広域的な交流が盛んなまち」と、この2つのテーマがあったんですけども、項目を並べている中で、観光面で考えてみればどちらも類似する項目が多いということで、1つにまとめて話し合いの方をいたしました。</p> <p>それで、まず観光ということで、両町にはモンテローザとかヨーデルの森とかグリーンエコーとか、たくさんのそういった観光施設がもう十分に備わっているということが上げられております。そういった施設面では十分過ぎるんですけども、その観光施設同士をつなぐルートが今のところ途切れていると。単発的な観光で売ってきているところを考えまして、観光ルートづくり、あるいはイベントの開催をどんどん進めていけばどうかなということで、こちらに書いてありますけども考えております。</p> <p>こういった観光地を結ぶ工夫や仕組みを行うことによって、観光施設への集客が効率よく図られるんじゃないかなというようなことで考えておりますけども、ただ観光地だけを整備するとなってもやはり限界があるかと思しますので、観光地以外にも地域をもっと魅力ある地域にしてみたらどうかというようなことを考えてみました。</p> <p>それで、地域をどう魅力あるかということですけども、例えば小川がたくさんあって魚がすめたりとか、クヌギの木を作ってカブトムシを育てて子供たちに分けてあげるとか、そういった特色ある地域づくり、まちづくりを、あるいは我々ができる範囲としては、荒れている田畑を登録制で利用していただいたりとか、ごみ拾いとか草刈りなどを日常的に行って、とにかく新町がきれいな町なんだということを植えつけていけばどうかというようなことが出されております。</p> <p>それで、じゃあ町を美しくして次に必要なのが何かということですけども、次考えられるのが道路とか鉄道の整備じゃないかなということで上がっております。</p> <p>先ほどちょっと出されておりましたけども、播但道が少し高いというような懸念も聞かれます。また、JRも寺前より北は電化でないと、こういったこと。あるいは、大河内町と神崎町を結ぶ東西のルートがないと、こういったことを少し整備する必要があるんじゃないかなということで、こちらの方に上げられております。こういったことをすることによって、都市住民との交流が開けるんじゃないかと。以前には、大阪から直通で寺前駅までの電車があったんですけども、</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>最近は途切れているということで、そういったことも復活してみたらどうかというようなことが話し合われております。そして、そういった整備をすることによって人が集まり、特産品などが売れるんじゃないかと、こういったことが考えられております。</p> <p>ちょっとまとまりがないんですけども、以上で終わらせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。難波さん、ありがとうございました。</p> <p>ただいま「心・ふれあい」といった目標に向けた視点が難波委員さんから発表されました。</p> <p>この発表内容を踏まえまして、委員皆さんからのご意見がございましたらお伺いをいたしたいと思います。</p> <p>どうぞ。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>ほかにご意見がないようでございますので、以上で分科会ごとの発表を終わらせていただきたいと思います。難波さん、ありがとうございました。</p> <p>〔拍 手〕</p>
井上（委員長）	<p>先ほど発表をいただきました3分科会ごとのワークショップの内容につきましましては、事務局の方で十分お聞きをしておりますので、今後の新町の主要施策に反映をしていただきますように、私の方からもお願いを申し上げておきたいと思います。</p> <p>その他といたしまして、今後の日程につきまして事務局からお願いをいたしたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
浅田（事務局）	<p>本日はどうもありがとうございました。</p> <p>お手元に会議次第がございますように、次回は8月5日木曜日なんですけれども、午後7時から神崎町のケーブルネットの局舎の方で開催をさせていただきたいというふうに思っております。</p> <p>内容につきましては、前回まちづくりの課題、合併の必要性、新町建設の基本方針、これらにつきましての各委員からの前回のワークショップからの反映といたしますが、文字の修正、そういったものも含めた修正版を、最終版を出させていただくということと、あわせまして本日のワークショップで検討いただきました主要的な施策を反映させたものを皆様方に報告し、検討いただくというふうな形で持っていきたいと思います。</p> <p>そして、その後は新町の建設計画の方のレジユメにもございますように、施設の統合的な整備、そして最後に財政的な計画の張りつけを</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>して、一応この新町建設計画完了という形になるかと思えます。そして、この新町建設計画につきましては、前回にも申し上げましたように、秋以降両町の集落的単位になるのか校区的単位になるのか、いわゆる住民公表という形にさせていただき予定をさせていただいております。</p> <p>そういったことで、いましばらく大変暑い時期なんですけれども、この新町建設計画の方につきましては作業を詰めてまいりたいと思いますので、ご協力よろしくお願ひしたいというところでございます。</p> <p>なお、今月は7月17日に第7回の合併協議会、この場所で開催をさせていただきます。あわせて第8回の協議会は7月28日、神崎町のK - N E Tの方で行いますので、そちらの方につきましてもよろしくお願ひしたいと思えます。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>今事務局より次回の委員会の予定について発表がございました。この日程的なことにつきまして、何かございましょうか。</p> <p>ございませんか。</p>
井上（委員長）	<p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>ないようでございます。それでは、本日の新町建設計画小委員会を閉じさせていただきたいと思えますが、委員の皆さん方には早朝よりこの時間帯まで長時間にわたりまして、ワークショップ初め精力的な意見交換をいただきました。委員の皆さんは大変お疲れのことと思えます。本当にご苦労さまでございました。これからはますます厳しい暑さが加わってこようかと思えます。皆様には十分に体調を管理されましてご活躍いただきますようお願いを申し上げます。</p> <p>それでは、本日はこれをもって閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p>